

目 次

第 58 回通常総会資料.....33

巻頭言

  想定外と災害の進化..... 経済産業省 原子力安全保安院 関東東北産業保安監督部長 守屋 猛... 5

連 載 続・貴重な体験 (12)

  得難い体験のいろいろ..... 四国支部 千葉 幸... 6

現場技術者のための誘導電動機の基礎技術 その 4

  三相誘導電動機の始動法 (その 1) ..... 丸岡技術士事務所 丸岡 巧美...19

お知らせ

  平成 24 年度自家用発電設備専門技術者受験について  
..... 一般社団法人 日本内燃力発電設備協会...24

本部だより.....本部 事務局...25

支部だより

  北海道支部 研修会のご紹介

  —伊達発電所、伊達ソーラー発電所、日本環境安全事業株式会社—  
.....北海道支部 菊池 耕司...26

維持会員紹介 中部支部

  人とクルマが調和して共存する「先進的なクルマ社会」を目指して.....(株)デンソー...29

新入会員紹介.....本部 事務局...32

◇表紙写真 赤レンガ駅舎外観が復原された「東京駅丸の内駅舎」◇

1914年(大正3年)創建された「東京駅丸の内駅舎」は、国の重要文化財に指定されている。赤レンガとして親しまれてきたJR東京駅丸の内駅舎の復原工事は4月に外観がほぼ完成し、その姿を見ることが出来る。1945年(昭和20年)の戦災時で焼失した3階の外壁とドーム屋根が創建当時の姿に再現された。ドーム屋根材の一部には、東日本大震災で被災したスレートが使われている。

【協力広告主】(掲載順)

(株)戸上電機製作所、(株)双興電機製作所、日置電機(株)、(株)電気書院、(株)オーム社、(株)オー・アイ・シー、一般財団法人関東電気保安協会

《巻頭言》

想定外と災害の進化

経済産業省 原子力安全・保安院 関東東北産業保安監督部長 守屋 猛 もりや たけし



東日本大震災に対する人々の思いは様々なものがあります。地震そのものは自然の営みであって、そこには必ず人が存在し社会を形成しています。そのため《人災》であると捉える考え方もありますし、一方では、皆様方の組織体が現地で復旧支援してきたように《日本人としての絆》として捉えることができたと思います。

今回の地震による津波では、各地で多くの子供たちが犠牲となりました。中でも宮城県石巻市の小学校の場合は、津波が河川を数kmも遡上して来たために全校生のうち教員を含む子供たちの実に7割が巻き込まれて亡くなりました。一方、岩手県宮古市の隣接した小中学校では、地震発生直後に中学生たちが途中のある小学校の子供たちの手を引いて全員で高台まで避難し、巨大津波の難を逃れたという話題がありました。

岩手県の場合は、日頃から避難訓練を支える指導者がいて、子供たちはハザードマップのみを信じず、自分達で考えて行動するという習慣を身に付けていたからこそ、今回の『想定外を生き抜く力』をクリアし達成できたものと思います。しかし宮城県の事例は、想定外という言葉で一括りできない尊い命が失われました。

“我々は人生(震災)から何を期待できるのか”という発想で子供たちを見ると、この人生くらい悲惨なものはありません。しかし見方を180度転換して“人生(震災)が我々から何を期待できるのか”という視点で見れば、子供たち一人一人が生きたこれまでの生涯ほど輝かしいものではありません。ヨハネによる福音書には「一粒の麦も地に落ちて死なないならば一粒のまま残る。しかし死んだら豊かな実を結ぶことになる。」と人智を越えた祈りがあります。歴史の様々な出来事に遭遇しても、その身の処し方が問われ、生き延びた我々は世代を超えて語り継いで行かなければなりません。

グローバル化による厳しい経済、社会情勢が続いている中、今回の福島原発事故は、地震国、日本だけでは済まされない現代社会文明に

対する挑戦状が突き付けられ、国際社会にも大きな衝撃を与えました。国民の安全・安心に対する意識も大きく変わり、電力供給システムなど社会制度全体が激変する可能性があり、それに対応して行かなければなりません。スマートコミュニティ、クリエイティブ産業など新たな国内の潜在需要を掘り起こし、産業空洞化対策として攻めの姿勢が何よりも求められます。

また、災害は進化すると言われています。産業保安の視点から見れば、社会が高度化すればするほど災害事象は進化して人間社会に現れ、事業所の間での類似事象が発生しても日頃の取り組み方によってその結果に大きな差がでます。企業リスクの90%は現場にあります。震災での被害事例を徹底して検証し、経営者トップは先導だって現場を指揮し現場における気付き事項は、即、一丸となって行動に移す。進化する災害を乗り越えられる強い企業、強い現場力、より一層の安全な職場を目指して下さい。

最後に、震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、地震国日本として現代社会に生きる我々は、今後の日本の安定・安心のために互いに支え合う社会へ一歩ずつ歩みを進めましょう。

本《巻頭言》の掲載に際し宮城県出身者として皆様にお願ひです。東日本大震災はもう一年が経ちましたが、東北地方は未だに解決されないものが数多くあります。これまでの皆様方の支援に感謝すると共に、どうか皆さん今後とも東北地方のことを忘れないでください!